

## 山陽小野田みらい会議概要

本会議では、今後 12 年間の総合的なまちづくりの指針となる計画を策定するに当たり、市民の皆様が「住みたい・住んで良かった・住み続けたい」と感じるまちを目指すため、市民の皆様と一緒に市政を考える機会として開催しました。

会議では山陽小野田市の「良いところ」「もっと良くしたいところ」など全体として意見交換をしたのちに、基本目標ごとに方向性やまちづくりを進める上でのアイデアを出し合い、共有しました。

まちづくりみらい会議の内容を、次期計画策定に向けての提言書として取りまとめました。

### 1. 委員の構成

平成 28 年 1 月 1 日時点において満 18 歳以上 75 歳未満の市民 2,000 人を無作為に抽出し、参加希望者から委員を決定

### 2. 実施日・場所

	日時	場所	参加者数
第 1 回	平成 28 年 11 月 2 日 (水) 18:30~20:30	山陽小野田市役所	22 人
第 2 回	平成 28 年 11 月 17 日 (木) 18:30~20:30	山陽小野田市役所	21 人
第 3 回	平成 28 年 11 月 24 日 (木) 18:30~20:30	厚狭公民館	16 人
第 4 回	平成 28 年 12 月 6 日 (火) 18:30~20:30	山陽小野田市役所	19 人
第 5 回	平成 29 年 1 月 25 日 (水) 18:30~20:30	山陽小野田市役所	16 人

### 3. 実施方法

会議で市の魅力や課題、施策ごとの方向性の検討にあたっては、KJ 法（主にフセン紙に意見を書きだし、グループごとにまとめていく手法）で実施しました。

### 4. 実施内容

第 1 回 山陽小野田市の「いいところ」「もっと良くしたいところ」

第 2 回、第 3 回 まちづくりの取組について考えよう

基本目標 1 子育て・福祉・医療・健康

基本目標 2 市民生活・地域づくり・環境・防災

基本目標 3 都市基盤整備

基本目標 4 産業振興

基本目標 5 教育・文化・スポーツ

基本目標 6 行財政運営

第 4 回、第 5 回 提言の整理



## 5. ワークショップの意見概要

- 子育て支援としては、低所得者家庭・子どもの貧困への対策などが必要という意見が挙がっています。
- 防災体制の分野で、災害時における避難所の周知などの普及啓発の充実を求める意見が挙がっています。また身近な地域で困りごとを相談しあい、課題に対応できるよう地域のつながりづくりが必要という意見が挙がっています。
- 交通に関する意見として、地域によっては公共交通機関の乗り継ぎが不便であることや慢性的な渋滞が起こるといった意見があります。
- 観光振興に関する意見が多く挙がっており、特産品の開発や観光PRの充実など、観光客を誘致する施策から産業の活性化を図ることが必要という意見がありました。また、本市の魅力的な自然景観等についてもPRが必要という意見があります。
- 大学があるという特長を生かし産学官連携を進めるとともに、質の高い学校教育を確保していくことが意見に挙げられています。また、子どもの健全な育成を図っていくうえで、家庭や地域も一体となって子どもの健全な育成を支えられる体制をつくる必要があります。
- 市政情報については、広報記事や市ホームページについて見づらい・わかりづらいという意見が挙がっており、市民の声や意見を取り入れた市民参加型の広報の作成や、地域活動の紹介などを積極的に行っていくことが望まれています。



# 山陽小野田若者みらい会議概要

本会議では、今後12年間の総合的なまちづくりの指針となる計画を策定するにあたり、市民の皆様が「住みたい・住んで良かった・住み続けたい」と感じるまちを目指すため、高校生と大学生の皆様にご集まっていただき、市政を考える機会として開催しました。

会議では山陽小野田市の「よいところ」「10年後どんなまちになったらいいか」などを話し合い、共有しました。

## 1. 委員の構成

16歳以上22歳以下で山陽小野田市内に在住し、又は通勤し、若しくは通学している人から公募

## 2. 実施日・場所

	日時	場所	参加者数
第1回	平成28年11月13日(日) 9:30~11:30	山口東京理科大学	7人
第2回	平成28年12月26日(月) 9:30~11:30	山口東京理科大学	6人

## 3. 実施方法

会議で市の魅力や施策ごとの方向性の検討にあたっては、KJ法（主にフセン紙に意見を書きだし、グループごとにまとめていく手法）で実施しました。

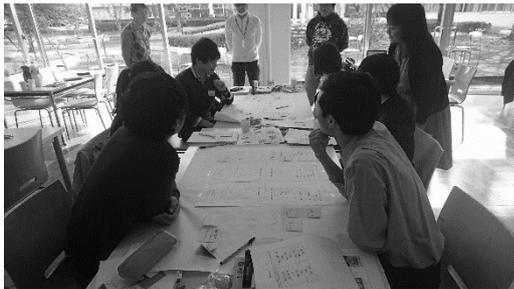
## 4. 実施内容

若者みらい会議では以下の流れで進め、意見を出し合いました。

第1回	第二次総合計画の概要説明、山陽小野田市若者みらい会議趣旨説明
	グループワーク① ・テーマ:「山陽小野田市のいいところを考えよう」
	グループワーク② ・テーマ:「未来日記を描こう」
	グループワーク③ ・テーマ:「未来日記を実現するためにはどのようなことが必要かを考えよう」
	グループ発表
第2回	前回会議のおさらい
	グループワーク① ・テーマ:「実現するためのアイデアをさらに深めよう」
	グループワーク② ・テーマ:「自分たちにできることを考えよう」
	グループ発表

## 5. ワークショップの意見概要

- 高齢者の生活支援として路線バス運行の充実や介護者の養成、高齢者の社会参加として働く場づくりなどのアイデアが出されましたが、福祉の充実には行政と民間との協力が不可欠という意見が挙がりました。
- 美しい自然環境を観光・レジャーに活用するアイデアが出されました。
- 産業振興として、インターンシップの機会が充実すれば、企業側・学生側双方にメリットがあり雇用の活性化につながるというアイデアが出されました。
- 文化振興として、本市の特長であるガラス文化を普及するため、小・中・高等学校での体験機会やガラス作品の展示等によるPRを図るといったアイデアが出されました。



## 地域懇談会概要

本会議では、計画を策定するに当たり、市民の皆様が「住みたい・住んで良かった・住み続けたい」と感じるまちを目指すため、小野田地区と厚狭地区の2カ所で皆様と一緒に市政を考える機会として開催しました。

会議では山陽小野田市の「よいところ」「もっと良くしたいところ」などを話し合い、共有しました。

### 1. 委員の構成

市民（自由参加）

### 2. 実施日・場所

日時	場所	参加者数
平成 28 年 12 月 12 日（月） 18：30～20：30	山陽小野田市民館	20人
平成 28 年 12 月 19 日（木） 18：30～20：30	厚狭公民館	12人

### 3. 実施方法

会議で市の魅力や課題、施策ごとの方向性の検討にあたっては、KJ法（主にフセン紙に意見を書きだし、グループごとにまとめていく手法）で実施しました。

### 4. 実施内容

地域懇談会では以下の流れで進め、意見を出し合いました。

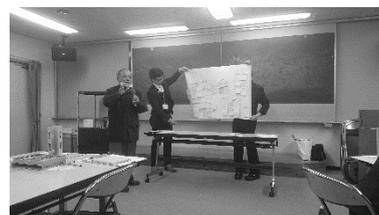
1	第二次総合計画の概要説明、地域懇談会趣旨説明
2	グループワーク① ・テーマ：「山陽小野田市のいいところについて話し合う」
3	グループワーク② ・テーマ：「山陽小野田市のもっと良くしたいところについて話し合う」
4	グループ発表

### 5. ワークショップの意見概要

- 福祉分野では病院や介護施設が多いことが挙げられており、医療機関は充実していると感じている人が多くなっています。一方で保育園の少なさや救急搬送が市外であるなどの意見もあり、保育サービスの充実や広域的な医療体制の整備が求められています。
- 地域のコミュニティについて住民同士が良好な関係を築けているものの、過疎化を不安に感じているという意見が挙がりました。
- 自然環境では、美しい夕日がみられるスポットや公園等の緑化環境のよさを市の魅力として挙げています。

- 交通関係では、生活交通が不便、道路の渋滞の解消という意見が挙がっており、生活交通の充実や広域交通体系の整備が求められています。
- 産業振興では、本市の産業の魅力として工業が活発であるという意見が挙がっています。また、農産物や水産物の新鮮さやおいしさが魅力として挙げられている一方、農業の担い手問題などへの支援が必要という意見も挙がっています。さらに、駅前をはじめとするにぎわいの少なさへの対策が必要と考える意見があります。
- 教育分野では、大学があることやすべての学校に図書館司書が配置されているという意見が挙がっています。一方で学童保育が充実していないことや児童館が少ないことも挙げられており、充実が求められています。

#### ■小野田地区地域懇談会



#### ■厚狭地区地域懇談会

